



第170号

発行所
 社会福祉法人
 西陣会
 HP: <http://www.nishijin.org>
 E-Mail: nishjinkai@nishijin.org
 〒602-8464
 京都市上京区元誓願寺千本東入ル
 TEL (075) 451 - 8971
 FAX (075) 451 - 5700

発行者: 水上雄一郎
 編集責任: 浅田将之
 郵便振替口座
 01030-5-23086

ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

社会福祉法人制度の改正にあたって

理事長 水上雄一郎



新役員体制について

センター便り絆をお読みいただきありがとうございます。この夏号が届く頃は真夏のさなかお体大切にお過ごしください。

さて、国において社会福祉法人の経営組織の見直し、事業運営の透明性の向上及び財務規律の強化等を内容とする制度改革が進められ、これを踏まえた社会福祉法の改正法が2017年度から施行されたところです。理事と評議員の兼任が不可

能になり評議員会が法人の決議機関となり独立した組織となりました。そのため評議員を審議する評議員選任解任委員会の組織も必要となりました。

新法のもと西陣会の定款では理事定数を六名、八名と幅を持たせ、評議員の定数は理事より一名以上多い人数となるように改定しております。旧定款では理事九名に対し、評議員は十九名の方に就いていただいていた。これまで、ご指導、お支え下さいました服部忠氏、井上敦夫氏、藤元加名氏と法人内各事業所長の四名は改選に合わせて退任さ

れることとなりました。ご尽力いただきありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

理事の候補者は当初七名を予定しておりましたが、八名の候補者を評議員会に選任していただくことになり、評議員を一名増員する必要が生じました。前理事長で現在顧問の深田先生にも相談し、お口添えもいただき、同志社大学社会福祉学科准教授のマーサ・メンセンディーク氏に就任いただくことになりました。女性の理事評議員を増やしていくことで、法人全体で一層、女性が働きやすい、

活躍しやすい環境を整えていけたらと期待しています。

理事長については選任された八名の新理事の中で相談いたしました。皆様それぞれ事情もおりの中で、私が再任して続けさせてもらうことになりました。高齢であり、住まいも距離的に遠いのでご迷惑をかけることもあると思いますが、新体制が整いましたので、これまで同様ご指導、応援

よろしくお願いいたします。障がいのある人への居住の支援について

さて、西館で運営しております循環型グループホーム「西陣会ホームとなり」が五年目になっています。当初三年間での循環を想定しておりましたが、三年間の間に一名の循環があったこと、シェアハウス（小松原の家）で新たに三名の住

まいを整えたこと等があったほか、何軒かの購入物件情報の提供や賃貸物件の話はありましたが、成立には至りませんでした。

今回、念願の上京区内、北野天満宮の北側の地域で福祉事業にご熱心でご理解のあるオーナー様による新築建て貸し物件の運営のお話をいただきました。設計時から運営法人の要望を取り入れていただけることは、やはりありがたいものです。詳細は引き続き相談していくこととなりますが、地域生活の拠点となる家を建てていただき、居住の支援を行っていきたくと考えております。理事会並びに評議員会で承認を受けましたので実施に向けて推進してまいります。西陣会ホームとなりへの多くの入居希望者の待機もありますので実現しなければなりません。

法人設立五五周年

理事長 水上雄一郎

今年には法人設立五五周年になります。「未来へGO GO!!」これまでの軌跡、これからの奇跡」のキャッチコピーで記念行事を開催しようとして実行委員会をつくって準備している最中です。今年の十一月二十六日(日)に寺町通丸太町上る新島会館で法人の創始時代にご活躍されました阪田吾郎先生をお迎えして理念や当時、活動を起された背景等をお話しくださいます。平田義理事には理念と活動をどのように理解するのかの解説をしていただく予定です。その他スライドによる現在の事業活動の紹介もありません。これまでの軌跡を振り返り、現在の事業や活動を皆さんと再確認し、理解を深め、今関わる人たちがともに若い職員の皆さんが中心となって「これからの奇跡」をどのように起こしていくか、六十周年に向けての取り組みについて皆様と確認できることを願っております。

皆様のご参加楽しみにしております。

2017年度新役員

西陣会は、多くのの方々の精神的、経済的な支えに助けられ、地域福祉に関わる様々な活動や事業を行ってこられたことができました。あらためまして御礼申し上げます。

近年、福祉サービス利用の措置から契約への移行、多様な経営主体の福祉サービスへの参入等、福祉サービスの供給体制における社会福祉法人の位置づけが変化してきた一方で、多様な複雑化する福祉ニーズに対応するため社会福祉法人の役割はますます重要になっています。

こうした中、社会福祉法が改正され、その趣旨を十分踏まえた法人運営を行うことが求められており、当法人においても定款を変更し、理事・理事会や評議員・評議員会が新たな役割や機能を持つこととなりました。

評議員は4月1日に就任され、理事及び監事は定時評議員会で承認を受けた6月17日に就任していただいております。皆様、法人運営に厚いご支援ご協力賜れますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

- ★評議員 赤井 英俊
- 評議員 叶 信治
- (前期までは理事)
- 評議員 佐々貴義全
- 評議員 喜多 泰弘
- 評議員 平松紀代子
- ★評議員 マーサ・メンセンディック (6/1)
- 評議員 南川 邦夫
- 評議員 宮川 知子
- 評議員 渡辺 和昭
- 理事 水上雄一郎
- 常務理事 浅田 将之
- 理事 武田 康晴
- 理事 平田 義
- 理事 福井 治子
- 理事 水谷 洋一
- 理事 南大路文字
- 理事 山本 恵
- 監事 菅 恒敏
- 監事 村井 喜治
- ★は新任

2017年6月17日(土)、がんこ高瀬川二条苑にて、新旧役員及び評議員、関係者ならびに現職員とで、食事会を行いました。この会は、これまで支えてくださった方々へ感謝の気持ちを伝え、これから支えてくださる方々へはあらためてお願いをさせていただく機会とさせていただきます。

会とし、関係者同士が顔を合わせ交流の機会になるようにとの思いで、「感謝の会」とさせていただきますました。職員にとっては、日頃あまりお会いする機会のない役員のみなさまにお目にかかり、お話しさせていただくことで、西陣会の歴史を振り返る機会になったり、励ましのお言葉をいただくことで、気持ちが新たに引き締まる機会にもなりました。



これからも皆さんとともに…笑顔でGoGo!

地域生活支援ニュース

西陣会居宅サービス係

もし、災害が起きたら?

松本 華緒莉

ある日、マンションに鳴り響く非常ベルの音。

私はご利用者宅で昼食を提供している最中。ご利用者はベッドの上でお食事を取られているところでした。すぐに、ご利用者と相談し、まずは私一人で外の様子をみることにしました。

ご利用者を一人にすることに不安もありましたが、障がいのある方の中には、お一人で避難をすることが難しい方もおられます。私は、もし火災であれば助けを求めるとい意味も込めて部屋を出ました。

玄関をあけると焦げた臭い……。状況を確認するため非常ベルの方へ行くと、そこには住民の方が数名おられました。お話を伺うと、昼食を焦がし非常ベルが反応したとのこと。

幸い、火災ではありませんでした。ご利用者へお伝え

し、「安心しましたね。」なんて話をしながら昼食を再開しましたが、その間も非常ベルは鳴り響いています。消防隊は迅速に来てくださりますが、その場にいるとても長い時間感じます。もし、本当に火災であれば……という気持ちがよぎる時間でした。

さて、話は変わりますが、私は嘉楽消防分団の一員として活動をしています。消防分団は、地域の方に安心していただく……そんな役割があると思っています。

そして、ヘルパーと消防分団のどちらにも通ずることは多くあります。

災害が起こった時のために私たちは、常日ごろから迅速に対応できる知識・能力を身につけ、事前にいくつかの対応策を考えておきたいと思っています。

デイセンターふらっと

受入について

副所長 本林 直人

現在デイセンターふらっとは29名の利用者さんが登録されており、毎日24〜27名の方が来られています。定員は23名なので、定員オーバーしているのが現状です。

デイが使用している部屋は、大きさを考えると流石に、もう利用者さんを受け入れるには無理が出てきています。しかし、エリア内(上京区・中京区・北区(一部除く))の方で本当に困っておられ、どうしても行き場がない方から相談があれば、一日でも何とかして受け入れることが出来ないかを検討します。

定員を超えているのはここ数年ずっと続いています。2016年4月から考えると、4人の利用者さんが増えています。部屋のレイアウトを変えることでスペースを作るや、利用曜日が違うことで、同じスペースを共有してもらおうなどをして、来てもらえるようにしています。新しい方が来

られることで、元々利用している方達に不具合や不利益がでないように何とか考えて行っています。

定員を超えて受け入れるには難しいですが、新しい利用者さんが来ることと、その場の雰囲気や良くなることも多くあります。この4月から利用開始された方は、元々西陣児童館の学童クラブに来ていた方で、その時に

よく二人で行動されていた方が、現在デイセンターふらっとを利用されているので、久しぶりに一緒に活動をされています。十数年前に戻ったかのような二人のやりとりが微笑ましくなりませんが、お互いに大人になり、新しい関係も作りながら一緒に活動できるように支えていけたらと思います。

ある日、マンションに鳴り響く非常ベルの音。

私はご利用者宅で昼食を提供している最中。ご利用者はベッドの上でお食事を取られているところでした。すぐに、ご利用者と相談し、まずは私一人で外の様子をみることにしました。

ご利用者を一人にすることに不安もありましたが、障がいのある方の中には、お一人で避難をすることが難しい方もおられます。私は、もし火災であれば助けを求めるとい意味も込めて部屋を出ました。

玄関をあけると焦げた臭い……。状況を確認するため非常ベルの方へ行くと、そこには住民の方が数名おられました。お話を伺うと、昼食を焦がし非常ベルが反応したとのこと。

幸い、火災ではありませんでした。ご利用者へお伝え

し、「安心しましたね。」なんて話をしながら昼食を再開しましたが、その間も非常ベルは鳴り響いています。消防隊は迅速に来てくださりますが、その場にいるとても長い時間感じます。もし、本当に火災であれば……という気持ちがよぎる時間でした。

さて、話は変わりますが、私は嘉楽消防分団の一員として活動をしています。消防分団は、地域の方に安心していただく……そんな役割があると思っています。

そして、ヘルパーと消防分団のどちらにも通ずることは多くあります。

災害が起こった時のために私たちは、常日ごろから迅速に対応できる知識・能力を身につけ、事前にいくつかの対応策を考えておきたいと思っています。

現在デイセンターふらっとは29名の利用者さんが登録されており、毎日24〜27名の方が来られています。定員は23名なので、定員オーバーしているのが現状です。

デイが使用している部屋は、大きさを考えると流石に、もう利用者さんを受け入れるには無理が出てきています。しかし、エリア内(上京区・中京区・北区(一部除く))の方で本当に困っておられ、どうしても行き場がない方から相談があれば、一日でも何とかして受け入れることが出来ないかを検討します。

定員を超えているのはここ数年ずっと続いています。2016年4月から考えると、4人の利用者さんが増えています。部屋のレイアウトを変えることでスペースを作るや、利用曜日が違うことで、同じスペースを共有してもらおうなどをして、来てもらえるようにしています。新しい方が来

られることで、元々利用している方達に不具合や不利益がでないように何とか考えて行っています。

定員を超えて受け入れるには難しいですが、新しい利用者さんが来ることと、その場の雰囲気や良くなることも多くあります。この4月から利用開始された方は、元々西陣児童館の学童クラブに来ていた方で、その時に

よく二人で行動されていた方が、現在デイセンターふらっとを利用されているので、久しぶりに一緒に活動をされています。十数年前に戻ったかのような二人のやりとりが微笑ましくなりませんが、お互いに大人になり、新しい関係も作りながら一緒に活動できるように支えていけたらと思います。



「クリーンウォーク」(デイセンターふらっと)

西陣会ホームとなり

親御さんの想いを受けて

サービス管理責任者 赤尾 幸雄

グループホーム事業を開始し、障がいのあるお子様を持つ親御さんより居住支援の要望を多数伺います。親が居る間に子供には自立した生活を送ってほしい、実家以外で安心して過ごす場所がほしい、仲間と一緒に過ごしてほしい、子供のことをよく知ってほしい、西陣会が運営する居住場所や支援にて生活してほしい、親御さんも年齢を重ねられ、ご自身に加え、お子様の将来のことも少しづつ考え始められているのだと思います。これまでの関わりから西陣会を信頼下さり、このようなお言葉を頂戴するのだと思いますし、重く受け止めています。

これまで挙げたような親御さんからのご意見は担当者だけで留めず、直接支援に関わっている職員とも共有するようにしています。先を想像することで、今すべきことが何なのか、様々なことに繋がってきます。居住場所が増えれば、その分職員が必要になり、同じ志を持った者を育成していかないとはいけません。その

お手紙をいただきました

お世話になった皆様方へ

サロン「どじょう」一同より

川内村もようやく春が来たようです。桜はまだですが、ちらちらとつぼみが数個ピンク色に染まり、顔をのぞかせています。皆様にはお変わりなく過ごされていること存じます。特定非営利活動法人「どじょう」が経過し、地元とともに頑張ってきました。このたびNPO法人「どじょう」から新たに立ち上げたNPO法

人輝きとして4月より活動してまいります。気持ちも新たに頑張ってみようと思います。皆様方へ、応援よろしくお祈り致します。今までは活動内容が少し変わったところがありましたが、いままではサロン「どじょう」の建物を使用しておもに障害を持った人たちが活動してきましたが、4月から、地域の方とのコミュニケーションを密にとるイベントなどを月一回取り組めます。障害を持つ年齢者、地域の人たちが一緒に活動する事になります。場所も村内各箇所にある公民館等を利用して小物作りや木工教室、講演などを企画してまいります。10月21日には、村内の方々の交流「どじょう祭り」を予定しております。



Happy happy Birthday♪ (西陣会ホームとなり)

「サロンどじょう」は福島県双葉郡川内村にあり、2013年7月に立ちあげられています。川内村は2012年4月に帰村宣言されましたが、障がいのある方が利用できる資源が少なく、行き場がなくて自宅を過ごされている方が多い中、新たな活動場所となつています。支援者不足の問題や、活動が軌道にのるまでの間、応援を必要とされた為、関西の有志の一員として西陣会から職員を派遣し、お手伝いさせて頂きました。(事務局長 宮崎一弥)

す。郡山市のNPOしんせいの協力をかりし、しめるイベントにしたいと思っております。又、4月から週3回ですが職員も増えるので、利用者さんたちも喜んでいきます。これらとえに皆様方のお力添えと心より感謝しております。現在利用している建物から移動する話でしたが、当分は現在のところで活動します。いろいろご心配をおかけしました。今後も頑張っていきたいと思います。見守っていただければ幸いです。皆様方のご健康をお祈りして挨拶にかえさせていただきます。

「サロンどじょう」は福島県双葉郡川内村にあり、2013年7月に立ちあげられています。川内村は2012年4月に帰村宣言されましたが、障がいのある方が利用できる資源が少なく、行き場がなくて自宅を過ごされている方が多い中、新たな活動場所となつています。支援者不足の問題や、活動が軌道にのるまでの間、応援を必要とされた為、関西の有志の一員として西陣会から職員を派遣し、お手伝いさせて頂きました。(事務局長 宮崎一弥)

支援センター「きりりんく」

相談員の相談

相談員 箕浦 佐知子

きらりんくでは現在5名の職員が、相談員として働いています。年齢も性格も経験年数もばらばらです。しかし、ご利用者の立場からすれば、相談員によって、相談の結果に差があらはれています。

そこで、できるだけ、そうならないようにするために、自分たちが何ができるか？を考えて取り組んでいくことがあります。先ず、主担当者や副担当者があることです。お互いに、情報共有を意識して、日々、複数の目で見るようにしています。担当者で判断に迷う時は、センター長に相談し、アドバイスを受けています。

また、必ず毎月1回、全員で会議をしています。「振り返りチェックシート」を使って、その月の自分自身を点検します。会議では、お互いの振り返り内容を読んで、みんなで話し合うので、他者の目から見た意見に動



おたべづくり (西陣会居宅集団活動)

揺することもありますが、的を射られた思いもします。真摯に受け止め、軌道修正して、「良い働きができるようになりたい」と思うことが多いです。そして、ケース検討会では、みんなの知恵がもらえるので、ひとり抱え込んで業務が滞るよりも、対応のレベルを上げることができて、私はとても助かっています。お互いの働きを気にかける、全体のスキルアップに繋がるこの会議を、毎月大切にしています。

支援センター「にじゅうん」

相談支援に携わって

主任 万代 由香利

相談支援に携わるようになって10年が経ちました。支援センターには病気を抱えて生まれてきた小さな子どもさんから介護保険に移行するまでの方まで(場合によっては移行後の方)、様々な相談が寄せられます。

おひとりおひとりのご希望や生活の困りごとなどをお聞きして、解決策と一緒に考えていくのですが、福祉サービスなどにつながることで解決できることもあれば、すぐに解決策を見いだせない相談も多くあります。1、2時間、電話でお話をお聞きすることもあります。「あなたには私の気持ちはわからない。」と言われたこと

もあります。なかには毎月の訪問を心待ちにしてくださっている利用者もいらっしゃいます。まだまだ力不足だなあと落ち込んだり、気づかされたり、ご利用者

の笑顔に励まされたり、元気をもらったり、そんなことでの繰り返しです。地域で生活される障害のある方の支援は、その方の人生や、時には命に関わることもあります。そんなに簡単に解決策が見つからないのは当然です。ひとりで抱えられるものでもありません。その方を中心に、その方の想いを大切にしながら、ご家族や関係機関の方と手をつないで一緒に考えていかなければいけないと思えます。そのために

は、手をつなごうと思っただけの相談員にならないといけないと思っっています。これからも、ご利用者からの相談と向き合いながら、相談員として成長していけるよう努力していきたいと思えます。



「うわっ! でっけえ!」 どこまで大きくふくらむかな? 出前児童館 in たちばな公園

第30回桜まつりによせて

実行委員長 荻野皓大

今回桜まつりの実行委員長をさせてもらうにあたって、普段関わる機会のなかった西陣会の職員の方々と一緒に活動できたことにより、僕自身もより一層西陣会のみなさんの暖かさを感じる事ができました。

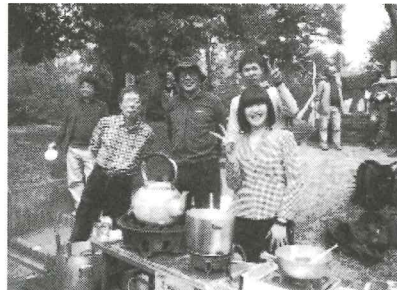
さて、私は元々愛知県の人間で京都に来たのは大学に入ってからのことなので、桜まつりのことは全く知りませんでした。しかし当日参加させていただいた時に、こんなにもたくさんの方が楽しそうにしているおまつりは初めてで、とても感動しました。屋台の食事をみんなが笑顔で食べて、ステージに立つ人はみんなキラキラしていました。こんなにも一人一人が輝いているおまつりの実行委員長をさせてもらえたことに本当に感謝しています。

私はからあげ屋の手伝いをしていたのですが、買っていく人が美味しいと言ってくれると、特に準備を手伝ったわけでもないのにとっても嬉しく感じました。自分が渡した物で相手がこんなにも喜んでくれるなんて感動しました。

次の桜まつりもみなさんが笑顔で楽しみ、輝けるおまつりになることを祈ります。



お腹も



こころも



まんぷく (^_^)

桜まつりのおいしい顔

センター往来

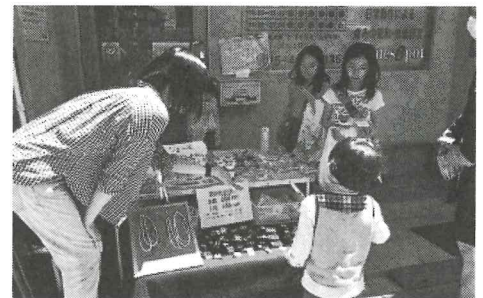
◎4月9日(日)・6月11日(日)に『西陣の朝市マルシェ』、5月7日(日)に『能舞台フェスタIN今宮御旅所』に出店させていただきました。

◎5月28日(日)理事会が開催され、2016年度決算および事業報告などが承認されました。

◎5月28日(日)評議員選任・解任委員会が開催され、理事会から追加推薦された評議員候補者が承認されました。

◎6月17日(土)定時評議員会が開催され、2016年度決算報告や理事の選任について承認されました。その後、新理事による理事会で水上理事長の再任が承認されました。

◎被災地支援物品販売の報告
。4月23日(日)
『めが! 千本100円商店街』(千本商店街主催イベント)
とてもいいお天気の中でたくさんの方が出歩かれています。元学童の子ども達をたくさん見かけたり、手伝ってくれる子もおり、いろんな方とお話することができました。



こどもたちもお店やさん! (めが千本100円商店街)

職員人事(常勤職員)

入職

法人本部
鳥居 利夫
(17年6月5日付)

退職

法人本部
小野 恒平
(17年4月30日付)

計報

六月二十二日(木)
元館長の天津健一様(享年七十三歳)がお亡くなりになりました。
天上での平安をお祈りいたします。

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075)451-5700迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

法人本部

京都市民福祉センター

地域活動支援センター

ふらっと

地域生活支援事業

レスパイトサービス

〒602-1846
京都市上京区元誓願寺通り千本

東入る元四丁目四三〇番地の二

TEL 〇七五 四五二一八九七

FAX 〇七五 四五二一五七〇〇

西陣児童館

京都市障害のある中高生の

タイムケア事業 ういず

TEL 〇七五 四五二一八九七

FAX 〇七五 四五二一五七〇〇

西陣会居宅サービス係

〒602-1846

京都市上京区元誓願寺通り千本

東入る元四丁目四三〇番地の三

TEL 〇七五 四一七三三四

FAX 〇七五 四四一五二九一

デイセンターふらっと

TEL 〇七五 四一七三三四

FAX 〇七五 四四一五二九一

京都市中部障害者地域生活

支援センターにしじん

〒602-1826

京都市上京区西堀川通元誓願寺

上ル堅門前町四一四

TEL 〇七五 四一七三三四

FAX 〇七五 四五二一三六三〇

京都市北部障害者地域生活

支援センターきらりリンク

〒606-1841

京都市左京区浄土寺上馬場町一七

一

フアリースト白川通一階中

TEL 〇七五 七五二一〇二六

FAX 〇七五 七五二一〇二七

西陣会ホームとなり

シヨートステイゆう

〒602-1846

京都市上京区元誓願寺通り千本

東入る元四丁目四二四番地一

TEL 〇七五 四六八二三〇六

FAX 〇七五 四四一五二九一

好きですセンター 深めよう “絆”